

オンライン配信の利用者の動向、気象予報士試験の実施状況及び気象測器検定の実施状況につきましては、2023年4-5月の話題で「数字で見る指定・登録業務の状況（2022（令和4）年度）」としてご紹介しています。

話題（2023年4-5月）URL：http://www.jmbsec.or.jp/jp/topics/2023/2304-2305_1.pdf

《気象予報士試験》

昨年1、8月には第59、60回試験を全国6試験地（のべ15会場）で実施し、本年1月28日（日）第61回も無事に実施することが出来ました。全国の受験者の皆様のご協力に深く感謝します。

気象予報士試験につきましては、2010年代に入り、受験者数の減少傾向が続いていましたが、2021年以降、それまでより年間2,500名ほど増え、昨年は受験申請者が9,577名となりました。昨年は、404名の方が合格しています。コロナ禍の年には、感染対策を実施しており、感染の不安から受験を差し控える申請者もありましたが、第60回試験からは、試験の体制も、受験者もほぼ通常の状態に戻っています。

気象予報士試験も、過去30年間で合格者が約1万2千名を超えています。近年、気象災害の多発や気候変動への対応が国際的な課題となるなか、気象予報士がTV・ラジオ・インターネット等の様々な場で活躍しており、引き続き、気象予報士の技能向上のため、各種講習会の開催など、技術的な支援を行うこととしています。

【参考】

各種講習会等については、以下のHPをご覧くださいと思います。

講習会のHP・URL：<http://www.jmbsec.or.jp/jp/seminar/seminar.html>

《気象測器検定》

国内には、気象庁以外にも、国・地方自治体・民間等での気象観測施設が、気象庁に届け出されたものだけでも約3万か所あります（2023（平成5）年1月時点）。こうした観測所の気象測器につきましては、観測データの品質確保の重要性から必要な測器について検定を受けることとされています。当センターは、測器検定の実施機関（登録検定機関）として、毎年1万件を超える雨量計、温度計、風速計等の検定を行っており、引き続き、「気象庁気象測器検定試験センター」の技術的な支援、関係事業者のご協力を頂きつつ、安定的に実施して参ります。

【参考】

気象測器検定の実施状況につきましては、先に触れました2023年4-5月の話題「数字で見る指定・登録業務の状況（2022（令和4）年度）」をご覧ください、また、気象観測施設の届出制度と測器検定制度の概要につきましては、次の気象庁HPをご覧ください。

気象庁HP・URL：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shinsei/kentei/index.html>

《振興・調査業務》

振興業務では、「気象年鑑」の発行、気象庁刊行物の頒布のほか、各種講習会をオンライン会議システムにより開催しており、そのメリットを活かして、全国から気象予報士等に参加頂いています。各種協議会の事務局としても、民間事業者等との連携の下、その役割を果たしてきました。

調査業務としましては、熱中症対策のための全国の主要地点における気象等の観測を行ってきており、環境省・気象庁発表の「熱中症警戒アラート」等を通して、引き続き、社会に貢献して参りたいと考えています。

【参考】

当センターでは、気象庁に監修を頂きつつ毎年「気象年鑑」の編集・発行を行ってきていますが、昨年の2022年版では、特集として「気象庁が発表する地震関連情報の防災・減災への活用」と「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表開始」を掲載しています。

気象年鑑2022年版URL：<http://www.jmbsec.or.jp/jp/publications/book/jma0190.html>

《国際協力》

国際協力機構（JICA）等と協同して、発展途上国の気象機関等への技術支援を行ってきており、昨年も、ベトナム、フィリピン、インドネシア、バングラデシュ、パキスタン、バヌアツ等において気象観測・予報警報、気候監視・予測、地震津波・火山監視などの能力向上のためのプロジェクトを行ってきています。特に、昨年は、コロナ禍もほぼ終息し、漸く対象国への渡航が通常の状態に戻り、現地でのフェース・ツー・フェースでの本格的なきめ細やかな技術支援を行って参りました。

近年、世界的に自然災害が多発するなか、多くの発展途上国が、台風や気候変動等の気象分野に加えて、地震津波・火山等の分野にも大きな関心を寄せており、気象庁にもご協力を頂きつつ、我が国の知見・経験を十分に活かしながら、発展途上国の防災・減災に貢献したいと考えています。

【参考】

当センターがかかわる国際協力業務の一端は、HPの国際協力業務の「最近の話題」のなかで閲覧することができます。

URL: <http://www.jmbsec.or.jp/jp/research-and-international-cooperation/international-operation-work.html>

《研究推進・支援》

気象研究所・大学等と連携して文部科学省による気候変動にかかわる研究プロジェクトを実施してきており、2017年に地球温暖化予測にかかわる研究プロジェクトに着手し、一昨年には同プロジェクトの後継として新たな5年計画“気候変動予測先端研究プログラム（2022～26年度）”を開始しています。

【参考】

当センターがかかわる研究とその成果の一端につきましては、研究推進・支援業務のHPで閲覧することができます。

URL: <http://www.jmbsec.or.jp/jp/research-promotion-and-support/research.html>

いずれにしましても、これまで円滑に業務運営できましたことに関係各位に改めてこの場をお借りして深く感謝申し上げ、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、引き続き、当センターの業務へのご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

(理事長)